

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箱根湯本ペットホテルプロジェクト	階数	地上5F
建設地	足柄下郡箱根町湯本茶屋字観音沢 184-5ほか1筆	構造	RC造
用途地域	防火地域、商業地域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2025年6月16日
敷地面積	2,042 m ²	作成者	UDS株式会社 一級建築士事務所
建築面積	722 m ²	確認日	2025年6月16日
延床面積	2,247 m ²	確認者	UDS株式会社 一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>77%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	77%	③上記+②以外の	77%	④上記+	77%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	77%									
③上記+②以外の	77%									
④上記+	77%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.4</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 2.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>既存の地形を活かした配置計画としている。</p>	<p>その他</p> <p>特に無し</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>屋光率を高めに設定し、光・視環境に配慮している。また、F☆☆☆☆建材をほぼ全面的に採用し、空気質環境にも十分配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>内装材は防汚性に配慮した材料を使用するなど維持管理に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>特に無し</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPI_m=0.89</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>ODP=0、GWP=1以下の発泡剤を用いた断熱材を使用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>光害対策を検討し周辺環境へ配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される